

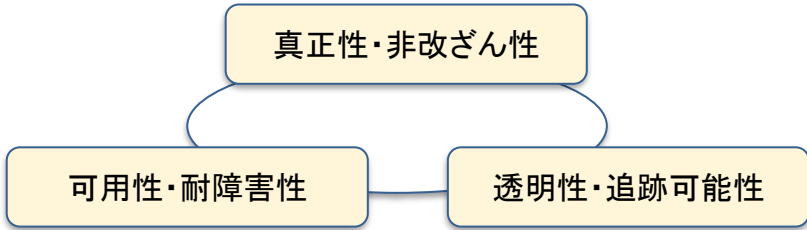
2025年9月 掲載	JIP's Direct「FOCUS」：	投資資産としての暗号資産の捉え方～拡大する投資家層と新たな法規制、期待されるブロックチェーン技術活用とその影響、そして課題について
	第1章	暗号資産を取り巻く環境について
	第2章	自主規制によるルールと運用状況について
	第3章	多様なブロックチェーン技術への期待とその課題
	第4章	投資資産としての可能性と留意点

ブロックの合意アルゴリズム比較

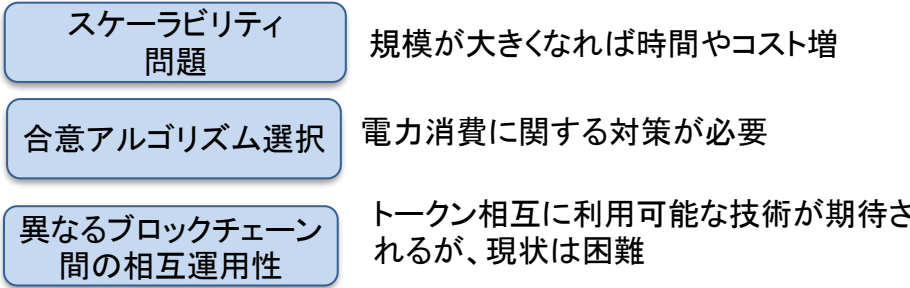
	PoW	PoS
代表例	ビットコイン	イーサリアム
合意形成	大量の計算競争	トークン保有量に基づく
年間消費電力	約1,200億kWh	約600万kWh
取引1件の消費電力	794kWh	0.015kWh (VISAの15倍)
環境負荷	極めて高い	PoWより低い
処理速度	遅い	PoWより速い

※数字は「ブロックチェーンと生成AIにおける電力消費の現状」日本総研2024年12月より作成

ブロックチェーン技術のメリット



ブロックチェーン技術のボトルネック



運用面の課題

